

No	大項目	小項目	機能要件
1	システム全般	システム構成	ユーザ側にはシステムを設置せず、インターネットを通じて必要に応じて利用者に提供するサービスであること。
2	システム全般	システム構成	当該システムは大きく資料データベース管理と資料データベース公開の二つの役割を持ち、資料データベース管理は資料サブシステム(目録や付随情報の管理蓄積)、日常業務サブシステム(資料の展示や貸出など、動きや所在を管理)、名簿・人物サブシステム(取得先や作家、関係機関などの名簿的情報の管理)を有すること。
3	システム全般	システム構成	1契約につき、2つの資料データベース管理を利用することができること。それぞれのデータベースはデータ連携機能を持たず、ユーザがログイン先となるデータベースを切り替えて利用することができること。
4	システム全般	データセンター	SRC耐震構造で堅牢に建築されたデータセンター専用ビルであること。
5	システム全般	データセンター	建物への入棟を、事前申出やカード認証などでチェックすること。
6	システム全般	データセンター	サーバ室への入室を生体認証等の厳重な方法でチェックし、伴連れ防止の設備を有すること。
7	システム全般	データセンター	利用するデータセンターのサーバ室は、監視カメラ及びセンサーシステムによる監視を行っていること。
8	システム全般	データセンター	無停電電源装置経由の電源を利用可能で、重油備蓄タンクからタービン発電機複数台による無給油で72時間の連続運転で非常時にも対応すること。
9	システム全般	データセンター	サーバールームは適切な温湿度に保たれ、緊急時は地下備蓄タンクの冷水で空調を安定的に維持できる設備を有すること。
10	システム全般	データセンター	超高感度煙感知器や地震計、漏水センサー等による24時間監視体制で災害を未然に防止する設備を有すること。また、耐火金庫仕様のデータ保管庫を完備していること。
11	システム全般	データセンター	各フロアにハロンガス消火設備と一般消火器を設置し、超高感度煙探知器による災害の早期発見体制と、耐火媒体保管庫を準備を有すること。
12	システム全般	データ管理とセキュリティ	バックアップは1日1回以上行うこと。
13	システム全般	データ管理とセキュリティ	バックアップデータは、サービスを提供するメインのデータセンターから、大規模災害で同時に被災しない程度の距離(関東と関西など)が離れた別なデータセンターで保管すること。
14	システム全般	データ管理とセキュリティ	資料データベース管理では、利用する端末とサーバ間の通信はSecure Socket Layerプロトコルを用い暗号化された通信をおこなうこと。
15	システム全般	データ管理とセキュリティ	資料データベース管理、資料データベース公開ともに指定したグローバルIPアドレスのみ接続を許可する機能を有すること。
16	システム全般	データ管理とセキュリティ	第三者の専門機関による脆弱性検査を1年に1回以上実施すること。
17	システム全般	インターフェイス	標準ウェブブラウザ(Microsoft Edge、FireFox、Chrome、Safari)で利用できるシステムとすること。
18	システム全般	インターフェイス	タブレット型端末(Apple社iPad等)に対応していること。
19	システム全般	システム全般	システムの運用、メンテナンスは受託者が実施すること。データのバックアップ、サーバーOSやアプリケーションのセキュリティパッチ適用/アップデート、サーバ状況の監視、不具合時の対応、ハードウェアの増設等安定的な運用に必要な業務を行うこと。これらに係る費用が別途必要な場合、運用費に含めること。
20	システム全般	システム全般	データの登録件数、画像登録数、総容量に制限がないこと。また、総容量が増えても料金は変動しないこと。
21	システム全般	システム全般	10,000×10,000ピクセルの高精細画像、およびPDFファイルを登録するため、拡張可能なストレージを別途用意すること。初期容量での利用にあたっては料金に含むこと。
22	システム全般	運用サポート	利用者からのシステム操作に対する質問の受け付けおよび回答を電話、メールで行うこと。
23	システム全般	運用サポート	オンラインヘルプを備えること。
24	システム全般	運用サポート	稼働率報告、障害発生報告、バージョンアップのお知らせをサイト上で行うこと。
25	システム全般	運用サポート	操作マニュアル、運用方法の解説など、運用をフォローする情報をサイト上で閲覧できること。
26	システム全般	ID/パスワード	資料データベース管理では、利用者はID/パスワードでログインすること。
27	システム全般	ID/パスワード	パスワードは各利用者が随時変更できること。
28	システム全般	ID/パスワード	一定期間ごとにパスワード変更を強制する、パスワードの英字、数字混在のみ使用可能とするといった、利用館ごとのパスワードポリシーを設定出来ること。
29	システム管理	ユーザ管理	パスワードを一定期間変更していない場合、変更を促すメッセージを表示すること。
30	システム管理	分類項目設定	資料分類について、初期登録時だけでなく運用開始後も、ユーザ側で自由に追加できること。
31	システム管理	分類項目設定	入力項目は利用者側で自由に追加、変更、削除できること。
32	システム管理	分類項目設定	資料分類を追加する際、既に設定されている分類の項目体系を雛形としてコピーし、その雛形を改変することにより、効率的に新しい分類・項目を設定できること。
33	システム管理	分類項目設定	詳細画面とほぼ同等の画面で、マウス操作だけで項目のレイアウトを行うことができること。
34	システム管理	分類項目設定	項目のラベルを編集することができること。また、詳細画面でラベルを表示する・しないを設定することができること。
35	システム管理	分類項目設定	項目の性質に応じた、「テキスト型」、「複数行テキスト型」、「テキスト デフォルト半角入力」、「日付型」、「数値型(整数)」、「数値型(実数)」、「プルダウン方式」等の入力方式を選択し設定することができること。
36	システム管理	分類項目設定	項目ごとに初期値を設定することができること。
37	システム管理	分類項目設定	項目ごとに手入力不可、必須入力、入力可能最大桁数などの入力制限を設定することができること。
38	システム管理	分類項目設定	資料を物理的に紐づける番号(資料番号など)については、重複した値の入力を許可しないよう設定することができること。
39	システム管理	分類項目設定	リスト選択、自動的な変換、西暦⇄和暦変換、カレンダー、郵便⇄住所変換、ポップアップリンク、データ呼出など、項目の性質に応じた入力アシスト機能を付加することができること。
40	システム管理	分類項目設定	項目ごとに秘匿設定を行うことができること。秘匿設定を行った項目は、秘匿権限を持つユーザ以外は編集・閲覧が不可能となること。
41	システム管理	分類項目設定	各項目の入力ルール、意味などについて、自館職員に周知したい情報を、当該項目欄にマウスオーバーしたときに画面下部の操作ガイドスペースに自動的に表示することができ、その表示内容を作成、編集できること。
42	システム管理	分類項目設定	情報を5つ程度のタブに分けて設定することができること。また、タブの表示順、名称を自由に編集することができ、不要なタブは非表示にすることができること。
43	システム管理	分類項目設定	資料の分類について、階層(親子関係)を設定することができること。
44	システム管理	分類項目設定	検索画面の検索項目セレクトに表示する項目を設定することができること。
45	システム管理	分類項目設定	検索画面の並び替え項目セレクトに表示する項目を設定することができること。
46	システム管理	分類項目設定	一覧表示項目設定画面の表示候補項目セレクトに表示する項目を設定することができること。
47	システム管理	分類項目設定	Excel出力画面の出力項目セレクトに表示する項目を設定することができること。
48	システム管理	分類項目設定	テキスト出力画面の出力項目セレクトに表示する項目を設定することができること。
49	システム管理	分類項目設定	項目内にURLを記入できる項目が設定できること。この項目をインターネット公開した場合、URLリンクとなること。
50	システム管理	分類項目設定	タブ単位で項目のレイアウトを変更出来ること。
51	資料データベース管理	登録機能	データの新規登録画面から、新たなデータを登録できること。
52	資料データベース管理	登録機能	データの詳細画面に表示されたデータを上書きし、データを更新できること。
53	資料データベース管理	登録機能	データの詳細画面から、当該データを削除できること。その際、誤って削除することを予防するために確認メッセージが表示されること。
54	資料データベース管理	登録機能	データの一覧画面から任意のデータを選択し、データを一括して削除できること。その際、誤って削除することを予防するために確認メッセージが表示されること。
55	資料データベース管理	登録機能	値を変更した項目は、保存が行われるまで、変更中であることが分かるような表示を行うこと。
56	資料データベース管理	登録機能	文字情報の登録においては、手打ちだけではなく、選択肢で入力できること。選択肢を変更、追加、削除することができること。
57	資料データベース管理	登録機能	多数の項目をデータのセットとして辞書的に登録し、そのセットをまとめて登録できること。
58	資料データベース管理	登録機能	資料の作者については、人名表記の揺れなどを防止するため、人物情報サブシステムに登録したデータから呼び出して入力できること。
59	資料データベース管理	登録機能	資料の作者を登録する際、人物情報サブシステムの検索画面がポップアップし、人物を検索、該当する作者を選択して登録できること。
60	資料データベース管理	登録機能	資料の受入先については、人名表記の揺れなどを防止するため、名簿情報サブシステムに登録したデータから呼び出して入力できること。
61	資料データベース管理	登録機能	資料の受入先を登録する際、名簿情報サブシステムの検索画面がポップアップし、人物を検索、該当する受入先を選択して登録できること。
62	資料データベース管理	登録機能	ある資料に関連する任意の資料を、データベースから選んで登録できること。
63	資料データベース管理	登録機能	ある資料に関連する任意の資料を、親子関係(上位概念、下位概念による繋がり)を持たせて登録できること。
64	資料データベース管理	登録機能	資料に関連する任意の資料を、関連資料として登録できること。その際、詳細画面からの個別登録と一覧画面からの一括登録ができること。
65	資料データベース管理	登録機能	資料IDと履歴、参考文献、関連資料、画像以外の情報を複製して登録できること。
66	資料データベース管理	登録機能	外部ストレージ等に保存したファイル等について、保存先URLを登録することができること。
67	資料データベース管理	データ一括処理機能	システムから出力したMicrosoft Excelテンプレートにデータを入力し、システムに読み込むことで、データを一括登録することができること。
68	資料データベース管理	データ一括処理機能	データ一括処理機能では、新規登録だけでなく、登録済みデータの一括更新もできること。
69	資料データベース管理	データ一括処理機能	データ一括処理機能では、Microsoft Excelに記載した情報を直接データベースを更新するのではなく、一時的な中間テーブルに取込み、入力規則などのチェックを行った後にデータベースを更新すること。なお、チェック時に入力エラーが発見された場合は、システム上でエラー項目をハイライト表示し、ブラウザ上でそのまま変更ができること。
70	資料データベース管理	データ一括処理機能	一括登録を行う際のテンプレートファイルは、当館で既存のExcelファイルの項目並び順に合わせて変更できること。
71	資料データベース管理	データ出力機能	データ出力機能では、すべての項目または任意の項目の選択により、検索結果リストの出力が行えること。検索条件がない場合は、登録されている全件数を対象とした出力とすること。
72	資料データベース管理	データ出力機能	出力する項目は30項目以上指定・選択できること。また、設定した出力条件に名前を付けて保存、および保存した条件の呼び出しができること。
73	資料データベース管理	データ出力機能	指定した項目の出力順をマウスで変更できること。
74	資料データベース管理	データ出力機能	出力形式として、タブ区切りまたはカンマ区切りによるテキスト形式と、Microsoft Excel形式が選択できること。

No	大項目	小項目	機能要件
75	資料データベース管理	データ出力機能	検索結果一覧から、画像をダウンロードしたいデータを選び、画像データを一括してダウンロードできること。また、資料1点に複数の画像が登録されている場合は、100枚程度を上限にそれらすべてをダウンロードできること。
76	資料データベース管理	データ出力機能	画像一括ダウンロードにおいて、資料1点あたりの取得画像件数上限を設定できること。
77	資料データベース管理	データ出力機能	画像一括ダウンロードにおいて、資料ごとに画像をフォルダ分けしてダウンロードできること。
78	資料データベース管理	データ出力機能	画像一括ダウンロードにおいて、取得するファイル名に資料名を含めてダウンロードできること。
79	資料データベース管理	データ出力機能	資料・作品カードやラベル、対外文書など、利用館独自の書式をシステム上で自由に作成でき、作成した書式をシステムに登録、その書式を指定して利用館独自の帳票を出力できること。
80	資料データベース管理	検索機能	検索時に検索対象とする資料分類を複数選択できること。
81	資料データベース管理	検索機能	資料分類毎に登録されているデータ件数が表示されること。
82	資料データベース管理	検索機能	検索機能は、任意のキーワードに対してすべての資料項目を横断して検索できる「キーワード検索」と任意の資料項目に対して検索できる「項目指定検索」を備えること。
83	資料データベース管理	検索機能	検索結果において、検索したキーワードに該当する部分をハイライト表示できること。
84	資料データベース管理	検索機能	「項目指定検索」は5つ以上の資料項目を掛け合わせ、詳細に検索できること。
85	資料データベース管理	検索機能	「項目指定検索」は検索項目を20個まで追加できること。
86	資料データベース管理	検索機能	項目指定検索は、検索文字列に対して「含む」「含まない」「完全一致」「前方一致」「後方一致」「以上」「以下」「入力値あり」「入力値なし」「範囲指定」から選択できること。
87	資料データベース管理	検索機能	項目指定検索は、数値、日付項目に関しては、数値や日付をハイフンでつないだ範囲指定ができること。
88	資料データベース管理	検索機能	システム管理者は、項目指定検索の対象となる項目を事前に設定しておくことができること。
89	資料データベース管理	検索機能	項目指定検索では、指定する項目を設定項目の中からテキスト検索できること。
90	資料データベース管理	検索機能	検索結果の一覧表示では、表示する項目の表示幅を利用者がマウスドラッグにより設定できること。
91	資料データベース管理	検索機能	検索結果の一覧表では、項目名をクリックすることで、昇順／降順の並べ替えができること。
92	資料データベース管理	検索機能	検索結果の一覧表では、1画面に表示する件数が10・20・50・100件と切り替えることができること。
93	資料データベース管理	検索機能	検索結果の一覧表では、ページ送りだけでなく、指定した任意のページに遷移できること。
94	資料データベース管理	検索機能	検索した条件に名前を付けて保存、および保存した条件の呼び出しができること。
95	資料データベース管理	検索機能	検索画面に遷移した際に、最初に表示される検索条件を指定することができること。
96	資料データベース管理	検索機能	検索結果の一覧から任意のデータを選択して、絞り込みや除外ができること。
97	資料データベース管理	検索機能	検索結果の一覧をリストとして名前を付けて保存し、そのリストの一覧を呼び出すことができること。
98	資料データベース管理	検索機能	保存した検索結果一覧(リスト)をキーワードで抽出できること。
99	資料データベース管理	検索機能	保存した検索結果一覧(リスト)を統合できること。
100	資料データベース管理	検索機能	保存した検索結果一覧(リスト)を削除できること。
101	資料データベース管理	検索機能	検索結果の一覧表を画像も含めて印刷出力できること。
102	資料データベース管理	検索機能	旧字異体字・類義語辞書を登録し、登録された旧字、異字体、類義語での検索ができること。登録は管理者権限を持つ利用者が画面上から任意のタイミングで行えること。
103	資料データベース管理	検索機能	検索結果一覧と詳細画面との行き来において、検索結果一覧での表示位置を記録、再現できること。
104	資料データベース管理	資料サブシステム	資料に付随する、画像ファイル及び画像情報、貸出履歴、修復履歴、来歴、移動歴、参考文献が複数登録できること。
105	資料データベース管理	資料サブシステム	検索結果の一覧表では、文字情報／画像情報／文字画像情報の3パターンで切り替えができること。
106	資料データベース管理	資料サブシステム	登録画面からPCやサーバに保存している画像ファイルを参照、指定し、資料に関連する画像を登録できること。
107	資料データベース管理	資料サブシステム	資料画像は部分拡大表示およびスライダーバーによる拡大率の変更ができること。
108	資料データベース管理	資料サブシステム	拡大画像の表示で90度ごとの画像回転がワンクリックでできること。
109	資料データベース管理	資料サブシステム	資料に対して、3Dオブジェクトデータを登録できること。登録後、同じ画面上で3D画像を自由な角度で回転させられること。さらに専用ビューアをポップアップさせて大きな画面で閲覧、回転させられること。
110	資料データベース管理	資料サブシステム	資料に対して、10,000pixel × 10,000pixelの大容量画像を登録できること。
111	資料データベース管理	資料サブシステム	資料に対して、PDFファイルを登録できること。
112	資料データベース管理	資料サブシステム	資料に対して、Youtubeの動画リンクを登録できること。登録後、画像エリアにYoutube動画のサムネイルと再生ボタンが表示されること。再生ボタン押下時には実際に再生が可能なこと。
113	資料データベース管理	資料サブシステム	資料に対して、画像、3Dオブジェクトデータ、Youtube動画リンクは複数登録ができ、登録点数に制限がないこと。
114	資料データベース管理	資料サブシステム	登録した画像ごと、3Dオブジェクトデータごと、Youtube動画リンクごとにインターネット公開可否が設定できること。
115	資料データベース管理	資料サブシステム	画像を登録すると、システムで表示する複数のサムネイル画像を自動生成すること。
116	資料データベース管理	資料サブシステム	画像のキャプションを登録できること。
117	資料データベース管理	資料サブシステム	画像のクレジットを登録できること。
118	資料データベース管理	資料サブシステム	画像について、クリエイティブコモンズに基づく権利表記が登録できること。
119	資料データベース管理	資料サブシステム	画像について、Rights Statements(ライツ・ステイトメント)に基づく権利表記が登録できること。
120	資料データベース管理	資料サブシステム	代表画像を設定できること。また、代表画像は登録画像中の先頭に表示されること。
121	資料データベース管理	資料サブシステム	登録画像中の並び順を設定できること。
122	資料データベース管理	資料サブシステム	資料情報が入力されていない状態でも、先行して画像ファイルだけの登録ができること。また、資料情報が登録された後、先行して登録した画像ファイルを関連付けることができること。
123	資料データベース管理	資料サブシステム	特定のブラウザ(FireFox、Chrome、Safari)を利用の際は、画像を所定の場所にドラッグ&ドロップすることで画像登録ができること。
124	資料データベース管理	資料サブシステム	音声ファイルの登録ができること。
125	資料データベース管理	日常業務サブシステム	資料の利用(展示・貸出など)、閉架・開架、現在の状態(予約中／貸出中／返却済)を管理できること。
126	資料データベース管理	日常業務サブシステム	資料利用に関する概要を登録、保存後に、その利用の対象となる資料を登録できること。
127	資料データベース管理	日常業務サブシステム	利用の対象となる資料を登録する際、資料の検索画面が表示され、対象となる資料を検索して登録することができること。
128	資料データベース管理	日常業務サブシステム	利用の対象となる資料を登録する際、資料管理側で検索結果に名前を付けて保存する機能によって保存したリストを、リストごとに登録することができること。
129	資料データベース管理	日常業務サブシステム	同じ資料に対して予約、貸出期間の重複が発生しないよう制御機能を有すること。
130	資料データベース管理	日常業務サブシステム	資料が入庫・返却された際、資料利用(展示・貸出)の場合は、それぞれの資料の出品歴(貸出展示履歴情報)、修復の場合は修復歴が自動的に作成されること。
131	資料データベース管理	日常業務サブシステム	資料の移動(入庫・返却)があった場合、該当資料の移動歴が自動的に作成されること。

No	大項目	小項目	機能要件
132	資料データベース管理	日常業務サブシステム	貸出・展示の対象となる資料リストに登録され、貸出や展示が行われた場合、該当資料の詳細情報に、貸し出されていることを示す状態と貸出先の情報を自動的に表示すること。
133	資料データベース管理	日常業務サブシステム	対象資料一覧に表示されている個別資料の利用状況(ステイタス)を1点ずつ変更することができること。
134	資料データベース管理	日常業務サブシステム	当館で管理しない他館から借り受けた資料を借受情報として収蔵資料とは別に登録・保存しておくことができること。
135	資料データベース管理	人物・名簿サブシステム	作家、寄贈者などの人物に係る情報を人物データとして登録でき、資料サブシステムや貸出・展示管理などでデータ呼び出して利用できること。
136	資料データベース管理	人物・名簿サブシステム	人物管理では、その人物に登録されている資料情報一覧が表示できること。
137	資料データベース公開	インターネット公開	一般公開可能な資料については、インターネット上での公開を行えること。
138	資料データベース公開	インターネット公開	インターネット公開画面は、検索トップ—検索結果一覧—検索結果詳細 の3段階の画面を基本とすること。
139	資料データベース公開	インターネット公開	インターネット公開画面の即時停止／開始がシステム管理者により行えること。
140	資料データベース公開	インターネット公開	インターネット公開画面の検索トップで使う検索項目、検索結果一覧で表示する項目、検索結果の詳細で表示する項目を、編集画面で自由に設定できること。また、複数の大分類がある場合、詳細情報で表示する項目は、大分類ごとに別々の設定ができること。
141	資料データベース公開	インターネット公開	グローバルIPアドレスを指定することによって、限定的にインターネット公開が行えること。
142	資料データベース公開	インターネット公開	インターネット公開ページにID、パスワードを設定することによって、限定的にインターネット公開が行えること。
143	資料データベース公開	インターネット公開	インターネット公開は資料／図書、日本語版／英語版、インターネット用／来館者端末用など2つ以上の公開データベースを同時に利用できること。
144	資料データベース公開	インターネット公開	英語版での公開を行う際には、「検索」ボタンが「Search」ボタンとなっているなど、英語に対応した表記、デザインとなっていること。
145	資料データベース公開	インターネット公開	インターネット公開の画面レイアウトは、50以上の画面レイアウトから利用者が自由に選択できること。
146	資料データベース公開	インターネット公開	インターネット公開画面で、閲覧者が文字の大きさを3段階に変更できること。
147	資料データベース公開	インターネット公開	検索によらず、公開資料の画像をランダムに表示する機能を有すること。
148	資料データベース公開	インターネット公開	インターネット公開画面に館ホームページなどのリンク先を表示できること。またそのリンク先は編集できること。
149	資料データベース公開	インターネット公開	インターネット公開画面のヘッダー画像を利用者が自由に変更できること。
150	資料データベース公開	インターネット公開	インターネット公開画面の背景色、アクセントカラー、テキストカラーをカラーピッカーから自由に設定できること。
151	資料データベース公開	インターネット公開	インターネット公開画面のヘッダー画像にリンクを設定できること。またそのリンク先は編集できること。
152	資料データベース公開	インターネット公開	インターネット公開の検索トップ画面では、分類をプルダウンで選択するインターフェイスと、階層型表示により中分類・小分類までを一気に選択するインターフェイスのどちらも使うことができること。
153	資料データベース公開	インターネット公開	インターネット公開の検索トップ画面では、選択肢をチェックボックスとともに表示し、複数の選択肢を選んで検索することができること。
154	資料データベース公開	インターネット公開	検索結果一覧で表示する件数の初期値を編集することができること。
155	資料データベース公開	インターネット公開	インターネット公開前にプレビュー画面で公開内容やレイアウトの確認が行えること。
156	資料データベース公開	インターネット公開	インターネット公開設定を下書き保存できること。
157	資料データベース公開	インターネット公開	インターネット公開画面で、作家(人物)の50音順リストが表示され、そこから作家(人物)を選ぶと、その作家(人物)の作品・資料が一覧表示されること。
158	資料データベース公開	インターネット公開	インターネット公開にて言語:「英語」かつ人物検索:「使用する」を選択した場合、人物検索の人物一覧の表示はABC順にされること。
159	資料データベース公開	インターネット公開	インターネット公開の資料詳細画面では、画像が表示されること。また、画像がない場合はそのエリア自体を表示しないか、「No Image」の画像を表示するかを選択できること。
160	資料データベース公開	インターネット公開	インターネット公開の資料詳細画面では、資料1点につき登録された複数の複数の画像を公開できること。複数の画像を公開する際は、画像送りボタンで表示する形式と、登録画像のサムネイルを並べて表示する形式を選択できること。
161	資料データベース公開	インターネット公開	資料に対する3Dオブジェクトデータを公開できること。また画面上で3D画像を自由な角度で回転させられること。さらに専用ビューアをポップアップさせて大きな画面で閲覧、回転させられること。
162	資料データベース公開	インターネット公開	資料に対するYoutubeの動画リンクを公開できること。その際、画像エリアにYoutube動画のサムネイルと再生ボタンが表示されること。再生ボタン押下時には実際に再生が可能なこと。
163	資料データベース公開	インターネット公開	インターネット公開の詳細画面では、「拡大画像」ボタンにより拡大画像を表示できること。また、拡大画像の表示・非表示については、編集画面で選択でき、非表示とした場合は、「拡大画像」ボタン自体も非表示となること。
164	資料データベース公開	インターネット公開	拡大画像の表示ビューアから、閲覧者が画像を印刷できること。また、印刷する機能はON/OFFを設定で切り替えることができ、印刷できないようにすることも可能であること。
165	資料データベース公開	インターネット公開	拡大画像の表示ビューアから、閲覧者が画像を保存できること。また、保存する機能はON/OFFを設定で切り替えることができ、保存できないようにすることも可能であること。
166	資料データベース公開	インターネット公開	画像にキャプションが登録されている場合に、インターネット公開検索の資料詳細画面にて画像部分にキャプションを表示できること。
167	資料データベース公開	インターネット公開	資料管理にて登録済みの関連資料を公開システムへ表示できること。関連資料はそれぞれ詳細情報を表示できること。
168	資料データベース公開	インターネット公開	公開ページ全体、資料1点ずつなどのアクセス数をカウント、集計するために、Googleアナリティクスを利用できること。
169	資料データベース公開	インターネット公開	公開ページにディスクリプション(検索エンジン用の概要文・説明文)を設定することができること。
170	資料データベース公開	インターネット公開	縦長、横長の画像をサムネイル表示する際、画像を縮小して全体を表示するテンプレートと、画像をトリミングして表示するテンプレートが用意されていて、選択することができること。
171	資料データベース公開	インターネット公開	画像について、クリエイティブコモンズに基づく権利表記がアイコンとして表示できること。
172	資料データベース公開	インターネット公開	クリエイティブコモンズの権利アイコンをクリックすると、クリエイティブコモンズの権利説明ページへ遷移すること。
173	資料データベース公開	インターネット公開	画像について、Rights Statements(ライツ・ステイトメンツ)に基づく権利表記がアイコンとして表示できること。
174	資料データベース公開	インターネット公開	Rights Statements(ライツ・ステイトメンツ)の権利アイコンをクリックすると、ライツ・ステイトメンツの権利説明ページへ遷移すること。
175	資料データベース公開	インターネット公開	公開ページの概要や検索方法などの説明文を検索トップページに表示できること。
176	資料データベース公開	インターネット公開	公開ページに表示する説明文は、文章が長くなるなどの場合はポップアップ表示ができること。また、ページに記述するかポップアップ表示するかは、設定画面で選択できること。
177	資料データベース公開	インターネット公開	公開ページに表示する説明文の設定画面では、ワープロソフトと同様に文章を自由に記述でき、フォントの変更や表の挿入などが自由にできること。
178	資料データベース公開	インターネット公開	スマートフォンで閲覧する際に、文字やボタンが縮小されるのではなく、スマートフォンで見やすいレイアウトに自動的に変更されること。
179	資料データベース公開	インターネット公開	タッチパネル端末用にボタンを大きくするなどの適正化を図ったデザインを選択できること。
180	資料データベース公開	インターネット公開	公開される画像のうち、拡大画像については、不正利用を防止するための電子透かしを埋め込むこと。その際、作業負担を軽減するために、埋め込みは画像登録時に自動で行うこと。
181	資料データベース公開	インターネット公開	WEB APIでデータを公開できること。
182	資料データベース公開	インターネット公開	WEB APIは2種類公開でき、公開する項目はそれぞれ自由に設定できること。
183	資料データベース公開	展示ガイドアプリ公開	一般公開可能な資料については、スマートフォンのガイドアプリでの公開を行えること。
184	資料データベース公開	展示ガイドアプリ公開	ガイドアプリは、APP Store と Google Play からダウンロードできること。
185	資料データベース公開	展示ガイドアプリ公開	ガイドアプリは多数の館で共通のもの(アプリユーザはひとつのアプリで多数の館のガイドを利用可能なもの)とし、アプリ内で館を選択できること。
186	資料データベース公開	展示ガイドアプリ公開	ガイドアプリでは館のプロフィールを画像とともに公開でき、画像や文章を編集できること。また、プロフィール画面では館のホームページへのリンクが表示できること。
187	資料データベース公開	展示ガイドアプリ公開	ガイドアプリでは展示資料の番号をテンキーで入力することで当該資料の解説画面に遷移し、解説画面では文字、画像、音声、動画(Youtubeはめ込み)を表示できること。
188	資料データベース公開	展示ガイドアプリ公開	ガイドアプリでは展示資料をリストからも選択することができること。リスト表示あり・なしを設定できること。

No	大項目	小項目	機能要件
189	資料データベース 公開	展示ガイドアプリ公開	ガイドアプリは日本語、英語、中国語簡体字、中国語繁体字、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、ポルトガル語、ロシア語、韓国語、タイ語の画面を切り替えられること。
190	資料データベース 公開	ジャパンサーチ連携	登録データをジャパンサーチ* <sup>1</sup> と連携できること。  *1ジャパンサーチ…書籍等分野、文化財分野、メディア芸術分野など、さまざまな分野のデジタルアーカイブと連携して、国内で保有されている多様なコンテンツのメタデータをまとめて検索・閲覧・活用できるプラットフォーム。国立国会図書館が開発・運用を行っている。
191	資料データベース 公開	ジャパンサーチ連携	連携にあたっては、ジャパンサーチで必要とする各項目に対し、どの項目を連携させるかを設定できること。
192	資料データベース 公開	ジャパンサーチ連携	登録データの公開サイトをジャパンサーチに連携できること。